

これからの会議・研修のあり方、つくり方

今、学校現場では、次期学習指導要領等に向けて、教師にも、「アクティブ・ラーニング」の視点に基づいた教師同士の日常的な学び合いが求められている。職員会議や教員研修などで、教師集団が知見を結集し、学校をチーム化させる具体策を、現場の声や実践事例を交えて紹介する。

監修 日賀優一

「答えが1つではない問い」を考える高校生向け対話型ワークショップを開催する「三四郎の学校」事務局長。本誌2016年6月号で紹介した長崎県立諫早高校での取り組みを始め、高校教師や社会教育従事者などを対象とした学びの場づくりに携わる。

テーマ

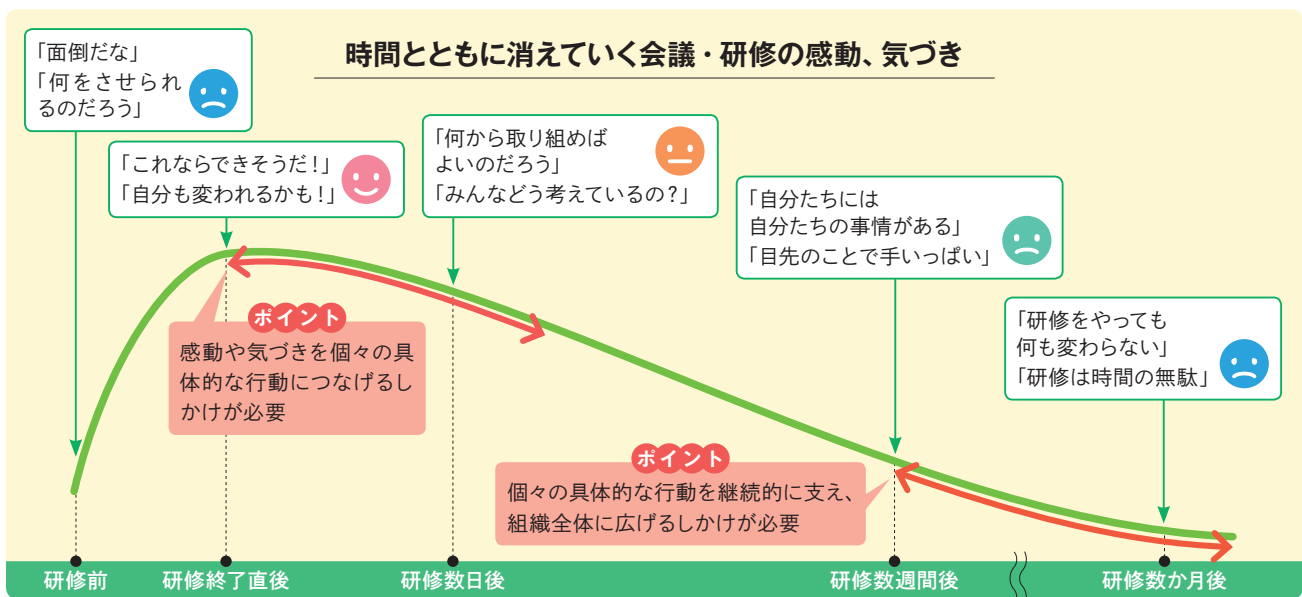
行動変容を促す振り返り

会議・研修の感動や気づきを、「個」に定着させ、「組織」に広げる

2017年10月号の本コーナー P.46 ~ 47 では、「前向きになれる振り返り」として、成果が担保されていたり、結果がすぐに表れたりするとは限らない取り組みについて、どのように振り返りを進めれば「引き続き頑張ろう」「次はこれを改善してみよう」といった意欲が高まるのかを考

えました。

今号では、振り返りを通じて得られた感動や気づきを、参加者の内面に長くとどめることで、個々の具体的な行動変容を起こし、それを学校全体に広げていくために、司会・進行役ができる振り返りのしかけについて考えます。



しよう。

運営役の先生の重要な役割と言えるでしょう。

これから、教育活動について校内で話し合ったり、有識者の意見を聞いたりする場が多く、高校現場で設けられています。では、そうした学びの場が個々の教師の変化や成長にどれほど役立つのでしょうか。授業改善を目的とした校内研修が頻繁に開催されている現状に対して、「研修に時間をとられすぎだ」「同様の研修を繰り返しているが現状は変わらない」と不満を持つ先生もいるようです。コンピテンシーベースへの授業改善など、今、現場に求められている変化は一朝一夕で実現できるものではありません。

だからこそ、会議・研修で得られた感動、気づきを参加者それぞれが具体的な行動に落とし込み、さらにその行動を実行・継続していけるようなしかけと、そこで生まれた変化を校内で共有する仕組みが、これからの会議・研修には求められます。一人ひとりの行動変容が促されるよう、参加者の心境を見通し、それに寄り添った振り返りを会議・研修後に行うことが、企画・

会議・研修の感動、気づきを「明日からの自分」につなげる

変容を促す！ 会議・研修の振り返りの仕組み

会議・研修終盤 参加者個々が「必ずできること」を具体的に挙げ、仲間と認め合う

会議・研修 振り返りシート	名前
会議・研修の感動や気づきを踏まえて、「これなら必ずできる」ということ、スモールステップの目標を1つ以上挙げてください。 1	「これなら必ずできる」と思ったことがもしもできないとしたら、それはどのような理由だと思いますか。 2
会議・研修のグループ内で、それぞれが掲げた「これなら必ずできる」ということを共有しましょう。 3	

会議・研修後の振り返りシートでは、上記のほかに、参加して気づいたことや感じたこと、今後の会議・研修に対する要望など、学校や参加者の状況に合わせて項目を設定するとよいでしょう。

1 「必ずできること」を具体的に書く

会議・研修の最後に、参加者に振り返りシートを配布し、「これからの自分」について考えてもらいます。その際、「こうなりたい」といった願望ではなく、「これならば必ずできる」というスモールステップの変容を具体的に書くように伝えます。

2 「必ずできること」を妨げる要因に注目

目指す変容が小さなものであっても、実際に一步を踏み出す際には様々な壁に直面します。「『これならばできる』と考えたことができないとしたら、それはなぜか」を考えさせることで、参加者に状況のメタ認知と問題の解決を促します。

3 「必ずできること」を仲間と承認し合う

個々の参加者が振り返りシートで掲げた「これならば必ずできる」ことを、4、5人のグループで共有します。他者の承認を受けることで実際に取り組む意欲が高まり、他者の考えを知ることで会議・研修での学びがより多角的になります。

数週間後 感動・気づきを深めさせ、個々の変容を組織として共有する

1 会議・研修の内容を企画・運営役が再発信

会議・研修のねらいや実際に話し合われたこと、会議・研修の最後に参加者が書いた振り返りシートの内容を抜粋したものを、企画・運営役がレポートとしてまとめ、それを参加者に配布することで、参加者個々が改めて感動や気づきを深められる機会をつくります。

2 参加者個々の変容の様子を校内で共有

教科団や学年団の枠を超えて、参加者の変化の様子を知ることができるように、参加者に簡単な事後アンケートを実施し、「会議・研修が自分にもたらした小さな変容」を聞きます。そのいくつかを学校全体に紹介することで、行動変容は校内で着実に進んでいることを伝えます。

「変わらなかった」ではなく、「変わるのかも」と希望の明かりをともし

会議・研修を無事に終わらせるだけでなく、そこでの感動や気づきを、参加者個々のその後の行動変容につなげるまでが、これからの会議・研修の企画・運営役に求められる役割と言えるでしょう。そのためにも、終了後のフォローが大切になります。

「数年前、アクティブ・ラーニングの校内研修が繰り返し実施されたが、変化の機運は一過性で、多くの授業は今も本質的には変わっていない」。先日、ある先生から聞いた言葉です。その学校では、研修後の個々の変容を組織全体につなげる仕組みがなく、全校的な授業改善に至らなかったばかりか、校内研修に対して無力感を抱く「負の記憶」が一部の教師に残ってしまったのです。どんなに素晴らしい講師がどんなに心に残る研修を行っても、すぐに組織的な行動変容を起こすことは困難です。だからこそ、明確に変わらない中でも個々の「変わろうとするもがき」を拾い上げ、「研修に参加したA先生の小さな挑戦」などと校内で紹介していくことで、「みんなでいつか変わるのかも」という希望の明かりをともし続けることが大切です。

貴校の会議・研修づくりをお手伝いします！

VIEW21 編集部が本コーナーの監修者とともに、貴校の会議・研修づくりをお手伝いいたします（会議・研修の様子は、本誌誌面で紹介させていただく場合があります）。現状の会議・研修のあり方に課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、下記の e-mail アドレスにご送信ください。
※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認をお願いいたします

① 学校名・お名前 ② 分掌・ご教職歴 ③ 改善したい会議・研修の内容（目的・時期） ④ 会議・研修に対する課題意識、改善要望

✉ view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

※ご応募いただいた学校すべてを必ずお手伝いできるとは限りません。

〈個人情報の取り扱いについて〉この「これからの会議・研修のあり方、つくり方」の会議・研修づくりの募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口（0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時）にて承ります。（株）ベネッセコーポレーション CPO（個人情報保護最高責任者）上記をご承諾くださる方はご送信ください。